

文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel 0776-82-1141 Fax 0776-82-2261
【斉藤新緑事務所】〒913-0046 福井県坂井郡三国町北本町2-1-20京福三国ビル2F
【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp
【ホームページ】http://www4.ocn.ne.jp/~sinryoku 斉藤新緑で検索可



ほっとらいん

VOL.47



福井港開港記念海外クルーズ「ふじ丸」出航風景 写真/福井新聞社提供

ガリレオ

「時期尚早という者は百年経つても時期尚早と言ふ。」

「前例がないと言ふ者は、百年経つても前例がないと言ふ。」

「リーグの創始者川淵三郎氏がテレビ番組でサッカー口化の創世期について語っていた。当時はほとんどの人がサッカーの口化を反対していたそうだ。」

川淵氏は言ふ、七八割が反対の時こそ、決断し断行できるのがトップだ。」

情熱と語り口やり遂げようとする信念組織を引っ張るリーダーに必要なものはミッション(使命)・パッション(情熱)・アクション(行動)だ。スポーツジャーナリストの二宮清純はいつ。

「みんながなんとなく実現したいと思っているだけでは十分なのだ。だから一人でもいいから絶対に退かないという決意を示し続けることが必要だ。大衆の中において同じようにふるまっていれば悪口をいわれないですむ。しかし大衆の先に立つて一つの主義主張をとなえ行動すれば必ず悪口をい

われる。したがって指導者としての資格は、絶えず悪口をいわれ、批判されていることにある」といつてよい。(中略)自分が正しいと信じたら邁進しよう。最後は事実が時を解決してくれる・・・」

婦人参政権を得るために抵抗勢力と戦い続けてきた市川房枝の言葉である。

さて小泉純一郎首相「約四百年前ガリレオガリレイは、天動説の中で地球は動くという地動説を発表して有罪判決を受けました。そのときガリレオはそれでも地球は動く」と言いたそうです。

「それでも郵政民営化は必要だ。と私は思います。」

「殺されてもいい。」

「亡くなられたかつてのリーダー、カミソリ後藤田正晴氏は「今の構造改革に欠けているのは改革後の日本の未来像だ」といわれた。

ものごとを深く考えることをやめて、世の流れに同調する付和雷同への警告だ。たのうか。「イエスカー」だけを迫る扇動的な演説やプロセスを省いたのフレイズ好みはこの社会の欲求不満の人たちを魅きつけるし、常に、敵を想定する手法は、論議を遠ざけ、感情が前面にでてくる社会の空気を生んでいく心配がある。

日本長期信用銀行は五兆円の税金を使ってケイレイにされわずか十億円でアメリカの投資会社に売り渡された。米国の強い要請でもある郵政民営化は郵政民営化なのか。アメリカ一辺倒で、日本がアメリカの五十一番目の州になったら、どう本が早々できてくても不思議ではない。

政治の要諦は、安心して暮らせる社会を築くことにあると心得るが。

農政大転換



どうする福井型農業

猫の目イベント農政から脱却せよ

私の主張

「パンを主食とするアメリカを米国といい、米を主食とする日本をジャパンと呼ぶのはなぜか、わからないが、農業政策は、一貫性を欠き、ころころ変わるから、猫の目農政、無策だから、ノー政などと揶揄されるように、農民は、その政策に翻弄されてきました。今また農政が大転換されようとしています。」

農業政策というのは、農民の生殺与奪権をもつ重要なもので、思いつきや机上の空論で言葉遊びをしてもうったり目先の評価を気にした役所の手柄話では困ります。次代を予見した政策こそが求められます。中央の補助金政策に盲目的に従い、その都度、地域農業政策を合わせ、気がつけば、何も残っていない、ということになってはなりません。

一律農政から担い手主体へ農政大転換
今年三月に新たな食料・農業・農村計画が策定されました。

福井県農林水産業の全国比較

専業農家率	65%	全国47位(最下位)
つまり兼業農家率	35%	全国1位
30アール以上の水田(ぼり場)整備率	88%	全国2位
農業産出額構成比 米	71.4%	全国2位
一戸当たり農業所得	30万円	全国41位
一戸当たりの農家総所得	1010万円	全国3位
育苗センター普及率	50.7%	全国3位
加付-1バ-ター普及率	30.2%	全国7位
水稻直播栽培面積	1210ha	全国2位

「経営規模の拡大が遅れ、農業の生産構造の脆弱化が進行している。地域農業の地域農業の担い手を育成確保し、担い手への農地の利用集積を促進し、構造改革を加速化していくことを目的に、具体的には品目横断的な経営安定対策を平成十九年度から導入するとしており、その対象となるのは、担い手として認定農業者が経営主体の実体とする集落営農組織を基本としています。」

「経営規模の拡大が遅れ、農業の生産構造の脆弱化が進行している。地域農業の地域農業の担い手を育成確保し、担い手への農地の利用集積を促進し、構造改革を加速化していくことを目的に、具体的には品目横断的な経営安定対策を平成十九年度から導入するとしており、その対象となるのは、担い手として認定農業者が経営主体の実体とする集落営農組織を基本としています。」

「福井県農林水産業の全国比較から数字を拾ったのが左表です。これらの特徴を粗雑にいえば、福井県の農業は、兼業農家が米をつくるための農業を軸とします。基本計画では、品目横断的な経営安定対策を平成十九年度から導入するとしており、その対象となるのは、耕作面積四ヘクタール以上の担い手で、認定農業者が経営主体の実体とする集落営農組織を基本としています。」

「福井県農林水産業の全国比較から数字を拾ったのが左表です。これらの特徴を粗雑にいえば、福井県の農業は、兼業農家が米をつくるための農業を軸とします。基本計画では、品目横断的な経営安定対策を平成十九年度から導入するとしており、その対象となるのは、耕作面積四ヘクタール以上の担い手で、認定農業者が経営主体の実体とする集落営農組織を基本としています。」

答

（知事）本県農業は、水田農業を中心とした集落営農を推進してきたところであるが、本年三月、本県の農林水産業の新たな活性化方策として、企業の経営体による水田農業の拡大、高収益園芸品目の生産振興などによる農業産出額の戦略的拡大、多様な販売戦略によるブランド力の向上などを今後の農政の柱として掲げ、推進している。これらの施策は、大規模な認定農業者を育成すると同時に、これまで進めてきた集落で行う営農を強化し、集落営農組織を増加させていくことを併せて促進していくものであり、これまで培ってきた基盤をもとに、農村地域の活力ある持続的発展を目指すものである。

知事はこれまでもの福井県農政をどのように総括し、今後どのように対応していくのか、また、これらの政策転換によって農村における農家数の減少、農村の崩壊が危惧されるが、どのように考えているのか、それらを軸に質問と提言を行いました。

都

道府県や市町村団
体を通して農家に下
るす上位下連型の農政が終つ
たともいえる。消費者ニーズは
多様化し、しかも目まぐるしく
変化する。海外の農作物が大量
に輸入される。こんな時代に必
要なのは全国画一の施策では
なく、地方が主体的に取り組み
多様な企画や構想こそが求め
られている。

知事は今後の日本の農業が
どのように推移していくと予
測しておられるのか、それに対
して、どう対応すべきと考える
のか、そのためにどのような
政策を福井県農政の機軸とす
るのか、所見を伺う。

答

(知事) 国際化や消費者
ニーズの多様化の中で、
日本の農業は国際競争力を高
めていくことが求められ、企
業的な農業経営が拡大してい
くことも、一方で消費者
ニーズに対応し、高付加価値
化、高品質化等を目指した特
色ある農業経営者が増加して
いくものと考えている。

こうした中で、本県農業の
振興を図るため、新しい農業
政策の機軸として

- 認定農業者や広域営農組
織の育成など農業経営の企業
化
- 収益性の高い園芸品目の
産地化
- インターネット等新たな

販売手法を駆使したブランド
力の向上

直売所や学校給食における
産地消の推進
グリーンツーリズムなど特
色ある農業農村の活性化な
どを推進し、農を産業として
振興する産業政策と農村地域
を振興・保全する地域振興政
策の両面から本県農政を進め
てまいりたい。

家庭菜園や道楽で農業を楽
しむのであれば別ですがそれ
でメシを食う農民には、きちん
とした見直しと確固とした採算
が必要で、連関性、総合性を
もって戦略化されなければな
りません。

丘陵地周辺の観光ソーニン
グについて要望と提案を行い随分
経過している。畜産試験場も
「試験研究機関の見直しをす
る中での検討
もお約束いた
だいたがそれ
以降、具体化し
ておらず遅々
として進んで
きていません。
個としての
担い手はやる
気が失ったり、
事故や病気など
に遭遇したり、
事業に失敗したり、
そのたびに、
投資した資金や
税金がムタ
になる危険性を
はらんでいま
す。また、農地
が産業廃物処分
場になりかねない
危険性も多分
にありまます。
そうした見地か
ら、地域のソー
ニティブフェン
スをお訴えし、
要望をしてい
きたい。

牛のいる風景



金

になるかならないか、
儲からないものはやめ
るといふ視点だけで農作物を
工業商品と同様に扱っ切り切
りしていいとは思えない。

最近、農政というとお花
畑に花が咲いたように、総花
的で何が幹で枝なのか見え
にくくなっているように思
う。

畜産試験場も試験研究機関
という枠にとどめることな
く、軽易な子供の宿泊研修所
とするようなことも考慮に入
れ、料理体験や動物とのふれ
あい、乳搾りや月の観測など
宮沢賢治の世界のような体験
ができるようなものに位置付
けて心を洗える場所にして欲
しいと思っております。

畑作営農は、低価格競争
で何をやっても厳しい環境
です。大規模担い手農家の育
成も大事だがその場合、投資
額の大きさなどからリスクも
大きい。その面で、小面積少
量、多品目の農作物による地
産地消を展開することが重要
と思われまます。直売、学校給
食、農家宅配など重視されま
すが、これらの発信基地とし
ての機能も兼ね備えたものに
なると、赤いとんがり帽子
の農民道場として地域に愛さ
れてきたように、変身をとけ
ることが地域農業を元気に
していくものと確信します
が、知事の所見を伺います。

答

(知事) 畜産試験場
については、本県にお
ける畜産振興の拠点施設とし
て若狭牛の肉質向上などの
試験研究や地域の畜産農家に
対する技術的アドバイスを行
うほか、県民に親しまれる施
設として地域と一体となつた
取り組みを行ってきた。

今後、坂井北部丘陵地全体
を振興していくためには畜
産試験場や民間の牧場、観光
農園、農業団体の直売所など
が連携しグリーンツーリ
ズムのルートとしても位置づ
け、地域農業の活性化を図つ
ていくことが重要である。

畜産試験場としては、牧草
地や研修館をはじめとする既
存施設を地域に開放すること
も、後継者研修生の受け入
れや畜産を核とした農家学習
会の開催など、地域農業の情
報発信基地としての機能を果
たせるよう努めていきたい。

地

産地消という面では
学校給食は重視され
る点です。現在、学校給食は福
井県の小中学校の給食用の食



うち地元産は十二億円であり、
年間仕入金額の三六%を占め
ている。
今後は、主要な農作物の生産
拡大や学校給食への地場産農
産物の供給拡大などを推進す
るとともに、食料自給率の目標
数値については、今後研究を進
めてまいりたい。

坂

地元産を増やすという発想
ではなく、県産品だけで給食
の献立をつくることを前提に、
不足分を補ってもらおうとい
う姿勢をとるべきだ。
学校給食の栄養士が、そう
した見地から献立を考え、成
果を挙げている例を鳥取県な
どで見ることが出来る。

答

(農林水産部長) 長平成一
五年度における日本の
食料自給率の目標
数値を掲げ、きちんとこれらに
対応すべきと考えるが、知事
の所見をお伺いする。

福井県の食料自給率の目標
は四〇%であり、本県の食料
自給率は六七%と全国第十三
位となっている。
食料自給率の向上を図るた
めには、生産体制を強化し、消
費者ニーズにあった農林水産
物の供給力を高めることや、
産地消等への取組みが重要
である。

答

(農林水産部長) 老朽化
による機能低下が進み、
農業生産に支障が生じている
農業水利施設などについては、
施設の老朽化の状況や農家の
要望を踏まえ、補修や更新な
どの措置を講じているところ
である。

なお、近年は補修や更新の
要望が増えてきていることが
ら、これまでの対策に加えて、
今後は、早めの劣化対策を講
ずることにより既存施設、長
寿命化を図る保全対策も導入
しながら適切に対応して参
りたい。

畜産試験場を発信基地に

陽子線がん治療施設 県立病院に

9月定例県議会

観光連盟に県職員が6名

九月定例県議会は九月十四日から十月十一日まででの二十八日間の会期中開催され一般会計補正予算案五十二億余万円)アスベストの健康被害防止に関する条例案など三十四議案報告七件を審議し可決しました。

焦点となった原子力技術を地域振興などに生かすエネルギー研究開発拠点化計画(二〇〇九年度の開設を目指している陽子線がん治療施設については県立病院に併設することが否かれ、合意しました。その他白熱した議論となったものとして武生市の旧料亭改修に助成する、歴史の香る建造物保存活用事業、観光連盟負担金事業とヒジツトふくい観光客誘致拡大事業がありました。わけても観光関連一事業についてはいくつかの疑義が生じ可決に当たって条件を付すこととしました。

(次回十二月定例会は、十一月二十八日から十二月十五日の予定)

陽子線がん治療施設を県立病院に併設

陽子線がん施設基本設計委託費九千八百万円について議論が沸騰したのは、整備場所。

陽子線がん治療施設整備はそもそも県が策定したエネルギー研究開発拠点化計画の一環であり、その中でも目玉となるもので、それが東北に整備されることになると、嶺南原発地域における拠点化はこつたるのかといったことになる。

結局、県内がん患者の交通便利

便性、がん治療の実績豊富な総合病院との併設が妥当ということとで予算を可決した。

観光連盟負担金事業

陽子線がん治療は放射線治療の一種で、エックス線などより確実にがん患者に放射できる。これまで若狭湾エネルギー研究センター(敦賀市)で研究が進められてきた。

新施設は年間四百人の治療が目標で、整備費用は約百億円。来年度までに基本設計などを終え、施設の建設に入り、二〇〇九年度にも、がん患者の治療を開始する方針。

観光連盟負担金事業

観光連盟負担金事業三千三百九十万円は、今春から県観光連盟に県職員四名を増員して派遣した人件費予算を計上したものです。

補正予算の人件費としては金額が大きいので議員が質したところ、従来、県観光連盟には県職員が一名派遣されていたことが、四名を新たに増員し計六名の県職員が派遣されていたことが判明した。

何の説明もないまますでに

四月から職員は派遣済みでしか、九月補正で予算計上するといふ事後承認もはなはだしいう半、続き上の大きな問題に加え、「本来、県観光連盟がやるべき仕事を県が行っていたので仕事を返した」という説明も、仕事を返すのはよいが職員まで一緒に行くのではとこの場所でもやるかの違いがなく、県職員のリストアップならわかるが派遣根拠としては説得力はなく、逆に観光連盟の仕事と県の観光行政の任務の不明瞭さ曖昧さが際立つこととなり、紛糾した。

しかし、予算を否決しても今さら職員を戻すということが現実的で生産的でもないが、判断し、派遣の必要性について毎年度効果を検証しながら見直し三年を限度にする条件を付けて可決することとしました。

観光連盟負担金事業

ヒジツトふくい観光客誘致拡大事業(五千万円)は、旅行代理店が宿泊客を連れてきたら助成金を出す事業として二〇〇四年度から実施されているもので、一人につき千五百円をエージェンツに支払うというもので、二万人分を予定し予算化したもの。

しかし、この事業は行政が行った観光政策としての品性に欠け、その成果も目先だけの単発的なものではないかと当初から疑問視する声が大きかったものでした。

観光連盟負担金事業

その成果も評価も明らかになれないまま、来年度のプランを今から準備しないと間に合わないといふことで、債務負担行為(来年度予算の先食い)による予算計上がなされたことから、全体的に観光客が減っており、この事業が観光客増をもたらしているとは見えないとして、これを紛糾しました。

結局、成果の評価基準を改めるなど、誘客数増となる実効性のある内容となるよう二〇〇七年度からの事業内容を見直すことを条件に認めることとしました。

歴史の香る建造物保存活用事業

歴史の香る建造物保存活用事業三百八十八万円については、明治期末に建てられ、数奇屋風建築の一端を留め残しているといわれる武生市の旧料亭を、武生市がその一部を文化拠点として使おうと計画しているものに対して県が助成しようとしているのです。

しかし、歴史的価値を持つ建造物の継承＝文化教育行政が、景観街並み整備＝土木行政が、個別案件に対する補助の妥当性など曖昧さがあり、議論となつたとりわけ問題を複雑化したのは公的施設として借用する部分以外は個人の住宅でも、その一部はNPO法人が使用しているという中で、補助対象は明確に区別しているとはいえないものの、一戸屋根の下のNPOで個人宅に助成するようないメージをもたれるという点。

県内には文化財保護の指定を受けていない歴史的建造物が数多く残っているが、それらをリストアップして優先順位を付けて取り組む必要と理解できるが、地域の人か言っているというだけでは補填にならない。保存活用事業を適用する選定基準や経緯が明確に整理すべきと指摘し、認めた。

三國署は坂井西署に

県内警察署の名称変更

- 永平寺署 坂井署
- 松岡署 丸岡署

市町村合併に伴い福井県警警察署の名称や管轄区域を変更するための条例改正案を提出された。

来年三月に合併する坂井郡四町も名称も管轄も変わる。丸岡・春江管内の丸岡署が坂井署に変更となり、芦原管内だった坂井町も担当する三國町管轄の三國署は坂井西署となる。

「三國署」の名称変更にはこだわったが、法令により、市に二つ以上の警察署がある場合、東西南北で対応しているとして、二つ以上もできない。今署は池田町が残るから変更せず、ということでもやむなく承しました。また、坂井駐在所の坂井警部交番への格上げを求める請願を採択しました。



老朽化した福井署の移転先の候補地として、福井市開発五丁目にある県土地開発公社の所有地(自治会館前)を念頭に検討していることが明らかとなった。

現在、ハウジング協会の貸し借り住宅展示場として利用されている。五年の賃貸契約を結んでおり、それ以後の建設となれば、工事期間三年程度として考えると随分と先になる。広さは現在の敷地の三倍近い約八千平方メートルあるが、建築は一万平方米が必要としており、県と協議を続けること。

福井署移転は何年先?

議論の仕方・させられ方

させられ方

「エネルギー研究開発拠点計画」に盛り込まれた陽子線がな治療施設の整備問題で、併設する病院をどこにするのかという立地場所について、議会初日から多くの議員が質問し、福井市周辺の総合病院と併設し、初日に答弁し、議論最終日にようやく県立病院と知事が答弁をした。

もったいぶった答弁に、クイズ番組に付き合うように質問をさせられ、マスコミもそれを最大の関心事とするように煽る。

基本設計委託約を補正予算として提案している以上、知事の提案を三國町議会から県議会に出して、びくりしたのは、常任委員会での議論が、執行部の提案した議案が中心ではなく、いきなり新幹線か原発とか、委員会の所管するものについてフリーキーキングするようになったことである。

初議会の常任委員会、提案された議案の数字上の質問をしたら、執行部がその場で答弁できず、委員会終了後に説明に行くということだった。ひどい議会だと思った。



だから自分が委員長になった時、自分の委員会だけは提案された議案から順番に議論するように運営し、口頭提案だった部長報告も事前に文書提出を求め、全員に配布した。

会派の政調会長になったとき、委員会のシナリオをすべて予算外議案、予算議案、請願陳情、その他の順に議論するよう改めた。今では部長報告の文書提案は当たり前になっている。議案書の資料も、事業内容について読めばわかるように概要説明文をつけるように改善されている。

今回、観光関連で付帯条件を付けた産業常任委員会での議論は、委員会当日まで話題にも上らなかった議案であった。

議案書に沿って審議が進められ、素朴な数字上の質問から、中身へと展開、批判、検証したもので、議会のチエック機能を果たしたものである。正真私には、人件費補正額や債務負担行為の年度などに目を向けていなかったのだが、素朴な当たり前のチエックが、重要な内容を照らし出す。

常任委員会では採決しない場合はどうなるのか、議会事務局は前例として、観光物産館を採決しなかった事例をもってきたのだが、それも私が産業常任委員会のときだった。

やむをえない、それが議員の仕事、議会の任務なのだ。

「いい人ならうちの村にいつばいい隣のじいちゃんも後ろのばあちゃんもみんないい人だ。」



人口300万人 金山市



福井港開港記念海外クルーズ 釜山ツアー
2005年 10月29日(金)

福井港開港記念海外クルーズ 大成功

釣り堀から国際港に

釜山市が熱烈歓迎

九月八日(十日)にかけて実施した福井港開港記念海外クルーズ釜山ツアーは三百十名の参加を得て多くの喜びや感動に包まれながら無事に終えることができました。



福井港が開港した年に民間として地元住民が開港を喜び合いどこからの助成金ももらわず、自分たちの旅費だけで、大型客船による海外クルーズを実践してみせた実績は計り知れません。



その面では福井県初の試みといつてよいでしょう。「釣り堀と呼ばれた港が国際港になった喜びを最高の形にして表現できたと思えます。



釜山副市長の歓迎

開港するために怒鳴ったり、土下座したり押ししたり。「福井港がどこにあるか知らない」、開港して何がかわるといふ地元の人たちに、世界の玄関口となった福井港を身近に感じてもらいたくて、老人でも身障者でも参加できる客船による旅を企画しました。

引いたりやってきて、開港が正式に決まったときの財務省関税局の課長の「これからはんばって下さいよ」という声が耳に残っていますが、福井港はよく頑張っているねという中央の評価が得られることは、ものすごく大事なことです。これが、よくいわれる地元の熱意というもので

出航前日に、大型の台風十四号が直撃し、出航そのものが危ぶまれた状況でしたので乗船直後はうねりが残っていて「天気晴朗ナレドモ波高」という状況で、酔いした方もおられたようですが、ふし丸は順調に航海を続け、船の中ではなかなか味わえない盛りだくさんのイベントやおいしい料理にみんな満足な様子でした。

旅行の交通手段としてはもとより、産業・経済・観光交流に新たなメニュー加わり豊富になったということです。



釜山港湾庁長との懇談

釜山副市長 安達泰氏、釜山観光協会会長 高光昭氏、国際口タリ第三三六〇地区代表 ナー金元祚氏、ミス釜山・姜侑実さんなど私の想像を超えて

いろいろな面で大きな成果をもたらした初クルーズ参加協力いただいた多くの皆様から心からお礼申し上げます。

親しみを持って我々を迎えてくれ、具体的な計画があれば協力を惜しまない約束をしていただきました。次に東アジア最大の八幡港(釜山)と釜山港全般的な運営管理をしている釜山港務公社(BPA)専務のヤン統括部長とも面談をして「福井港のポर्टセールスに努め協力を得ました。

私たちは、確実に明日への布石となる実績を築きました。喜びの声、感動の声、来年もやれの声もたくさん頂きました。年中行事となって海外からも来てももらえるような取り組みが必要。これからもよろしくお願ひします。

おかげさまで、福井港は観光交流拠点港として、全国十箇所指定の一つにも選ばれました。「みなと観光交流促進プロジェクト」を活かして、みなと観光まちづくりの取り組みもしっかりと進めたい。

お便り届きました

あこがれつづけたクルーズ。いま現実となり、感動となりました。
 気ぜわしい疲れた旅行とは違い、ゆったりとしたいやしの時間がクルーズにはありました。
 さまざまな船内イベント、豪華な食事、「ふじ丸」は、私達三百人の「街」のように、
 身軽な服装で船室から出掛け、いろいろな方たちと出会う事もできました。
 よい仲間と、素晴らしいクルーズに参加できた事を喜びたいと思います。
 ありがとうございました。

三国町女性



福井港発、初海外クルーズの応募があり、夫と夫の妹、次男の嫁と孫を誘い、5人で参加し、二泊三日を目一杯楽しみました。

船旅は優雅と聞いていましたが、本当にゆったりと時間をかけ、大きな海の上にホテルをのせて走っている感じがした。私達のお世話を下さる人が30名もいると聞いて驚きましたが、至れり尽くせりでした。

朝、目がさめると日の出を見て、モーニングコーヒー、朝食、ランチ、アフタヌーンティー、ディナーそして夜食、コンサートやゲーム等も豊富で次はどこに行くかと迷うほどでした。

部屋から初めて甲板に出た時は、その景色に感動しました。何て贅沢な空間だろうかと船の旅の一日目の感動でした。

二日目は釜山での世界遺産コースを見て楽しみ、三日目は釜山港の夜景を後にして、福井港へと帰路につきましたが、福井港に着く頃には、まだ帰りたい、このまま北海道まで行きたい、神戸港まで乗っていきたくて皆、甲板に出て、口々に旅の終わりを惜しんでいました。帰宅後、「夢にも思っていなかった優雅なクルーズに連れて行ってもらい、何度お礼をいっても言い切れない」と次男の嫁から電話がありました。

神戸で、いつも離れて暮らしているので、この3日間で本当に色々な事を一緒に楽しみ、いつもは無口な夫ともたくさん話ができ、より大切な家族を認識した旅だったので、私の方も本当に行けてよかったと心から思う旅でした。

又、この機会がありましたら、今度は長男の嫁と是非行きたいと思っています。



(福井市60代女性)

私もプールで
ちよっくら泳ぎました



俺が夕焼けだったころ
妹は小焼けだった
わかるかな
松鶴家ちとせ
イエーイ



最初に船の大きさに感動しました。
船の中に入った時、ホテルに来たような感じがしました
荷物もそのまま持たなくて、も良く部屋の中でゆっくりとくつろぐ事が出来、又時間に余裕があったと思います。
外に出れば見渡すかぎり、海海本当に参加出来て良かった。
前々から船の旅は酔っからず耳にはしてはいたが全く気配もへい風のせいでもあつたが、楽しむ事が出来ました。
食事もおいしかったし、フルーツも多くあり、内容イベントも退屈せず、目の前の戸川昌子さんの歌など、思い出の1つになりました。
今迄にない旅行でしたので、クルーズの旅、福井港に又々出ることを祈っています。又こんな機会がありましたら是非参加したいと思っています。
お世話になった皆様、又企画して下さいました皆様にお礼を申し上げます。
と思います。福井新聞のこたま欄に投稿しようか悩んだほどです。
(丸岡町 五三歳 女性)



楽しい食事風景

初めてのクルーズ福井港が、釜山への大海原を見ながらふと養父が下関から釜山へそして支那の戦地へ赴く時を思っていたのかと複雑な気持ちでした。
私達のグループは七十四歳が二人そして私の四人構成であったがこれがまた偶然というか全員がひつじ年生まれという事で和ができました。
船中ありふれた話の繰り返しではあったがその話し振りは実に生き生きしており、日頃いかに楽しく打ち解けてゆつくりのんびり対話する機会が少ないことを実感しました。
新しい人との出会い、つきる事のない対話船の旅ならではの素晴らしい体験をさせて頂きました。
リッチなクルーズで本当の対話を体験しました。
海から陸を見るという新たな視点も持ちました。
(丸岡町六二才男性)



釜山市歓迎の民族舞踊



戸川昌子のシャンソン

念願の三国港開港その最初の出国者のひとりとして
記念すべき船旅に参加させていただき、大満足の三日間でした。
華やかなドラの音と紙テープで見送られた旅は驚きの連続。
一番の思い出はカジノ！
はじめて経験したルーレットは信じられない程のつきで私の前に高々と積み上げられ、コインには本当に驚き嬉しかったです。
新緑さんはマカオ辺りのクルーズはこうですか？
そして戸川昌子さん、平さん、松鶴家とせさんのショウウ釜山での音楽や踊りでの大歓迎も楽しいひとときでした。
お食事もとても美味しく、台風の余波で船酔いし、困っていたら方には申し訳ありませんでしたが、忘れがたい思い出に残るはじめての船旅となりました。
これをきっかけとして三国港がアジアに開けた国際的な港として、たくさんの方を、迎え、送り出す日本海の「玄関」になればと期待いたします。
今回お世話いただいた皆様、素敵な企画をして下さった新緑さん本当にありがとうございました。
(三国町七五歳女性)

新緑の気ままだてく

コバルトの季節の中で

唄ノ沢田 研二

一年のうちでいい季節は春と秋だから春秋といえは歳月をさす。

髪形がかりましたね
秋風によく似合いますね
何か悲しいことあったのでしょうか
コバルトが目にしみますね
誰だつて秋は独りです
だから今朝はなにも話しかけません
しあわせの手ざわりが
いまとても懐かし
足早に過ぎて行くこの秋の中で
あなたを見失いたくないのです

風の日はきらいでしたね
忘れたい何かあるのですか
だけど人はきくと愛しあえるでしょう
コバルトが目にしみますね
誰だつて過去はつらいです
だから明日のこと話してみませんか
ひとりぼっちだったから
やさしさが好きでした
絶え間なく揺れているこの秋の中で
あなたを見失いたくないのです
あなたを見失いたくないのです

「きれいに晴れて佳しいね。森繁久弥は、待ち合わせ樹木希林にこんなふうについてうたがすが干両役者かなわな。」

「このごの文芸作風にはリズムと品格がないのは作家に漢字あるいは漢詩の素養がないからだ」といっただけあって、森繁さんは、明々と多くの歌や詩を詠じするようになった。

言ふなかれ、君よ別れを
世の常を、また生き死にを
海はらはるけき果てに
今や、はた何をか言はむ

(戦友別盃の歌)

人間の大きさと小さき人生の
長い短い人の音せぬ晩にふと想
う秋の夜長である。

小野弘先生の記念館が
ついでに

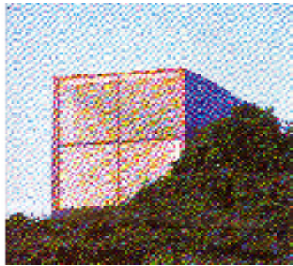
空の青海の青を好まれた先生の
コバルトブルーをモチーフにし
たショートケーキみたいな小さな
美術館なので、ブルーケーキと
名づけられた。

亡くなられて、早、四回忌を迎
えたがこの地で、上半身裸で日
光浴していた姿が最後の別れと
なっていた。お聞きしたいこ
ともあったのに、塚＝墓も動
けわが泣く声は秋の風といった
思いである。

ところで、小野先生の絵は何
を描いているのかよくわからない
と、遠く人もいえる。

今日の芸術とは
うまくあつてはいけない
きれいであつてはならない
「こちよくあつてはならない
という芸術はバクハツだ」と
いったアバンギャルドの巨匠岡
本太郎が、わからないというこ
とについて書いている文を引く。

「近ごろ、問題になっている
絵の多くが、今までの常識やキ
ャーナルから判断できない
いたた丸や三角形や、もやもやし
たシミのようなもの、あるいは絵
の具をたらしたり、入りまじった
線だけだったり、またとりとめの
ない夢のような情景は、はたタク
ソノ子どもラクガキみたいなも
のなどで、どうも、わからないと考
えている人が多いようです。(略)



小野メモリアル

コバルトブルーだから沢田研

二の「コバルトの季節の中
でを思い出すのでは貧困
な想像力だが、高台にある
ブルーケーキからの景色を
見ながら、晩酌でもしたく
なった。

第二十四回国民文化祭、正直、
あまりピンときてなかったのだ
が、三國町が漢詩と現代美術の会
場となつて、なかなか良かった。
私個人にとつても、磨き砂をも
らった感じで、ちょっと成長した
気分である。

まさに温故知新古きを訪ね、
新しきを知る。常に創造し、挑ん
でいく力、すばらしい。

ところで、漢詩大会の表彰式に
参加した折、本を販売していたの
で秋の夜長、中国の悠久の自然
をせめて本で眺めながら漢詩をひ
もとき、深みのある人間になりた
いと何冊か購入した。
ペラペラめくっていくと聞き覚え
のある勸学文学問の勧めが
あつた。

- 有田不耕倉廩虚
- 有書不教子孫愚
- 子孫愚令礼義疎
- 若惟不耕与不教
- 是及父兄之過歎

はじめの二行は、わが母校であ
る加戸小学校の旧校門の左右に書
かれていたもので、現在も保存さ
れているものだ。しかし、吟味す



ると文字が一字違
う。学校の門は
「有書不読子孫
愚、つまり本が
有つても読まなけ
れば子孫は愚かに
なる、子供たちよ、しっかり勉強
せよ」と理解してきたものだ。
気になつて、県立図書館で調べ
てみると、これは白居易、白樂天(白居易)が書いた白樂天勸学文で、内容は
父兄に対する警告の文。
「田があつても耕さなければ米
倉がからになつてしまふ。書物が
あつても教えなければ子孫は愚か
である(略)父兄は深く反省すべ
きである」となる。

なぜ「教」を「読」としたのか。
単純な誤りか、それともアレ
ジなのか。ここは母校の後輩、名
探偵コナンたちにお任せしよう。

「奥山に紅葉踏むわけ鳴く鹿
の声聞くときぞ秋は悲しき」
なかに、幸福は、帰りの坂道に落
ちている。何とは知れず、心が弾む
嬉しさなんてそんなものだ。

山のアケにはなじよして開く
下のマツタケ見て開く
わかるかな わかんねえだろな
松鶴家とせは元氣だろつか
昨日またかくてありけり 今日も
またかくてありなむ この命なにを
護る 明日をのぞきわつら
冬隣はず。
心なほ新緑を恋くたぐひにまほ

(鳥崎藤村)